遊YOU米 たわら新聞 第42号

遊佐町共同開発米部会広報部編集　平成24年1月

## 我々が出来る事をやる！つながっているのは組合員とだけではありません...

平成２３年産の共同開発米集荷が約 95,000 俵で、生活クラブと約束した１０万俵に届きませんでした。大変申し訳ありませんでした。収量減の原因として、春先の天候不順により田植の遅れや、登塾期に台風の影響を受けた事が理由としてあげられます。そこで部会では「開発米１俵運動」を行います。この運動は、部会員から自家用飯米を１俵出荷してもらう運動です。

## 遊佐では風評被害にあっている他産地のお米を食べ支えます

部会員が自家用米を出荷するにあたり、不足するであろう飯米の問題があります。そこで、風評被害に直面している栃木県「どてはら会」のコシヒカリとヒトメボレのブレンド（7：3）を食べて応援します。この事は１１月１６日に行われた遊佐町共同開発米部会臨時総会で賛同を得ております。強制という形ではなく、執行部からのお願いという形でお米の申込用紙を配布しました。

## 生産者500人メッセージ

菅原 満寿夫 38歳

北目班

琉南(ルナ)ちゃん 5歳　琉唯(ルイ)ちゃん 2歳

昨年父が急病で倒れた為、本格的にお米作りを始めました。共働きの夫婦のため、農作業をするのは朝晩・休日になってしまいます。時には子守をしながら作業をする事もあり、家族への負担も増えているのも事実です。作業当初、播種・育苗・水管理・農機具の使用方法まで分からずに不安だけが先行し、空回りしていました。そんな中、部会員や農協職員にご指導を頂き、無事に収穫までたどり着く事が出来ました。自分が主となって栽培し、収穫した新米を家族みんなで食べた時の味は生涯忘れる事の出来ない思い出です。米作りの知識や技術はまだまだ新人ですが、組合員の皆さんが安心して食べられるお米を作り続けたいです。これからも遊 you 米をよろしくお願いします。

## 再募集です

## 部会実験事業名について

遊佐町で行われている、無農薬実験等から農薬に変わる新しい技術の確立や方向性を模索する事、減農薬・減化学肥料、又収量の安定化を追求し、継続のできる環境保全・循環型農業を行う事が目的であり、遊佐町での実験プロジェクトは無農薬実験だけでは無く様々な取り組みが行われている事を知ってほしいのです。実験は、朱鷺放鳥プロジェクト・無農薬栽培実験　・菜種実験・無農薬栽培実験・3 成分米実験・有機肥料開発・循環型農業・農業用水を利用した水力発電等です。昨年度の応募数が数少ない状況で選考するまでに至りませんでした。今回の募集と昨年の応募を合わせて再度選考させて頂きます。二年にわたると言う事で豪華賞品を準備しております。

部会の宛名は長いので、➪の住所を切り貼りしてご使用ください。お待ちしております。

**締め切りは、H24年2月末日です！**

## 感想・ご意見お待ちしています

〒999-8301　山形県飽海郡遊佐町遊佐広表6-1
遊佐町共同開発米部会事務局（JA庄内みどり遊佐営農課内）
Tel.0234-72-3234　E-mail.yuyou@ja.midorinet.or.jp
URL.http://www.midorinet.or.jp/yuyou/